

### 第3章 地域社会・ボランティア関係

#### 1 地域社会

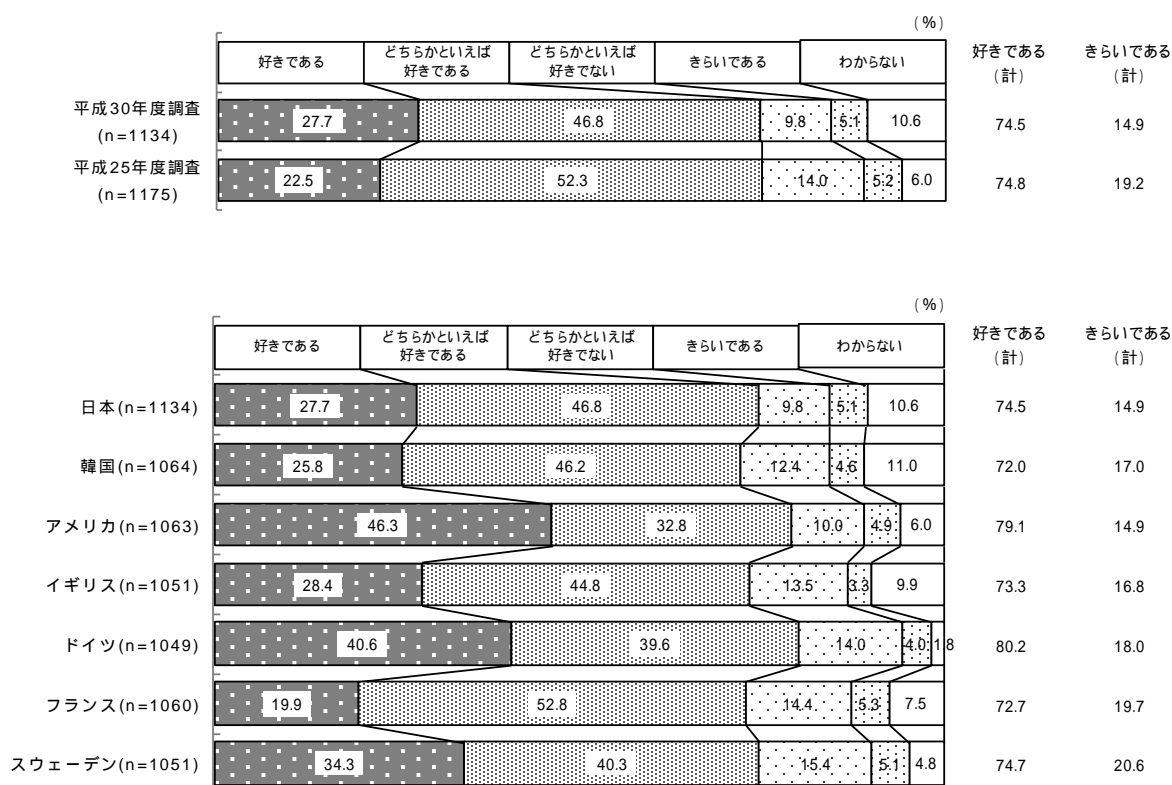
##### (1) 地域社会の愛着度

Q35 あなたは、あなたの今住んでいる地域（市町村）が好きですか。（回答は1つ）

今住んでいる地域（市町村）が好きか日本の若者に聞いたところ、『好きである』（「好きである」と「どちらかといえば好きである」の合計）と答えた割合は74.5%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

7か国比較でみると、『好きである』と答えた割合は、ドイツ（80.2%）が最も高く、次いで、アメリカ（79.1%）、スウェーデン（74.7%）、日本（74.5%）、イギリス（73.3%）、フランス（72.7%）、韓国（72.0%）となっている。



## (2) 住んでいる地域が好きな理由

Q36 あなたが今住んでいる地域(市町村)が「好き」または「どちらかといえば好き」な理由を、この中からいくつでも選んでください。(回答はいくつでも)

Q35で「好きである」「どちらかといえば好きである」と回答した人が対象

今住んでいる地域が好きな理由を日本の若者に聞いたところ、「愛着がある」(44.3%)と答えた割合が最も高く、次いで、「家族がいる」(44.0%)、「通学、通勤、買い物など生活が便利である」(41.3%)、「友だちがいる」(41.2%)、「生まれたところである」(39.2%)となっている。

7か国比較で見ると、日本と韓国以外の5か国では「友だちがいる」(ドイツ74.7%、イギリス63.9%、アメリカ62.2%、スウェーデン61.8%、フランス59.1%)と答えた割合が最も高い。次いで「家族がいる」(ドイツ69.2%、イギリス60.1%、フランス59.0%、スウェーデン56.1%、アメリカ55.3%)となっている。

韓国は「家族がいる」(61.6%)、「友だちがいる」(55.0%)が上位で、次いで「通学、通勤、買い物など生活が便利である」(47.3%)と答えた割合が高い。スウェーデンでも「通学、通勤、買い物など生活が便利である」(51.0%)と答えた割合が高い。

日本について平成25年度調査と比較すると、前回最も高かった「家族がいる」は今回2位で8.6ポイント低くなっている。前回2位だった「友だちがいる」は今回4位で9.2ポイント低くなっている。前回は今回も3位だった「通学、通勤、買い物など生活が便利である」は5.3ポイント低くなっている。

	日本 (n=845)	韓国 (n=766)	アメリカ (n=841)	イギリス (n=770)	ドイツ (n=841)	フランス (n=771)	スウェーデン (n=785)	平成25年度調査 (n=879)
友だちがいる	41.2	55.0	62.2	63.9	74.7	59.1	61.8	50.4
生まれたところである	39.2	43.5	40.2	47.4	52.2	38.7	41.8	38.0
家族がいる	44.0	61.6	55.3	60.1	69.2	59.0	56.1	52.6
愛着がある	44.3	32.9	36.0	38.4	39.5	39.6	31.3	43.3
自然環境に恵まれている	27.2	22.1	33.3	30.4	40.3	24.3	44.8	28.8
通学、通勤、買い物など 生活が便利である	41.3	47.3	37.5	38.3	38.0	30.1	51.0	46.6
楽しく遊べる場所が多い	14.7	28.1	26.8	24.4	30.7	21.9	26.2	13.0
地域の人とのつきあいが 豊かである	8.8	12.5	19.7	16.2	23.4	13.1	14.9	11.0
治安がよい	30.7	28.7	27.6	22.3	28.4	25.4	28.2	33.1
地域の集まりや行事が 盛んである	7.0	5.5	16.5	12.7	22.8	14.1	12.2	8.4
歴史や伝統が豊かである	8.5	8.4	14.9	13.9	17.4	18.3	11.6	10.1
文化や芸術に ふれる機会が多い	5.4	15.4	12.7	8.4	16.4	13.0	13.8	6.9
その他	2.0	1.6	1.3	0.5	2.4	1.0	2.2	3.4
わからない	2.5	2.0	1.9	2.2	0.8	2.5	2.5	2.4

(%)

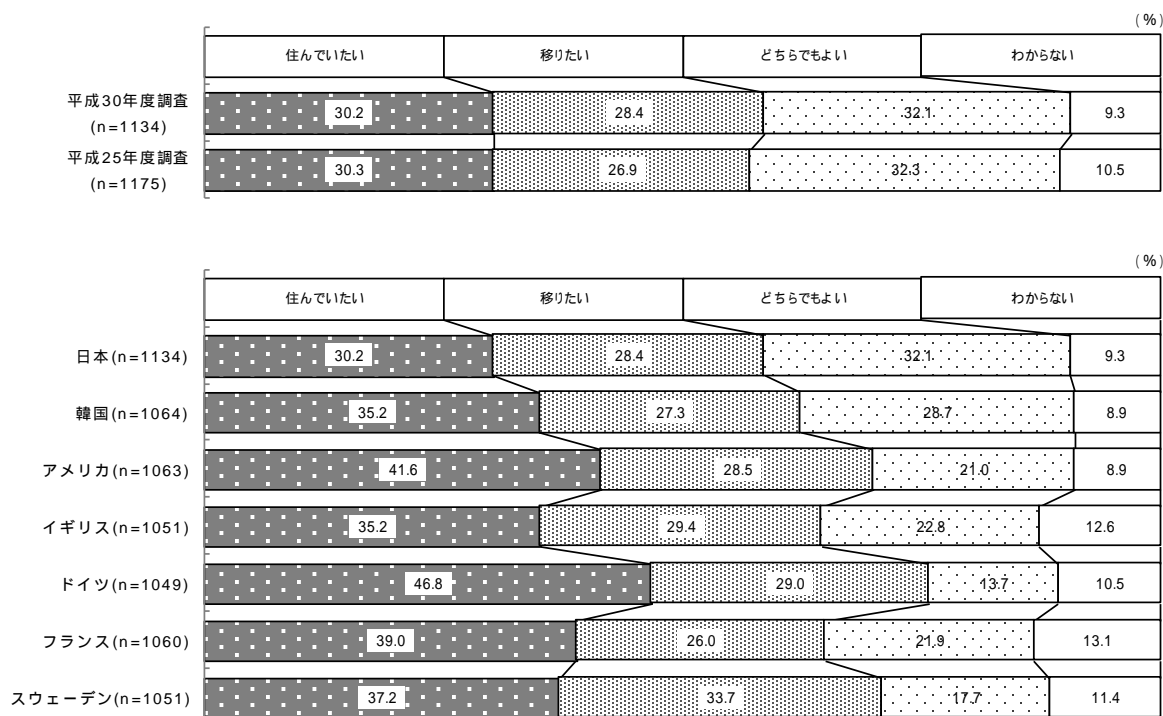
(3) 地域への永住意識

Q37 あなたは、将来もずっと今の地域(市町村)に住んでいたいと思いますか。「住んでいたい」「移りたい」「どちらでもよい」のうちではどちらですか。(回答は1つ)

将来もずっと今の地域(市町村)に住んでいたいと思うか日本の若者に聞いたところ、「どちらでもよい」(32.1%)と答えた割合が最も高く、次いで「住んでいたい」(30.2%)、「移りたい」(28.4%)である。

日本について平成25年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

7か国比較でみると、日本以外の6か国では「住んでいたい」(ドイツ46.8%、アメリカ41.6%、フランス39.0%、スウェーデン37.2%、韓国35.2%、イギリス35.2%)と答えた割合が最も高い。



## 2 ボランティア

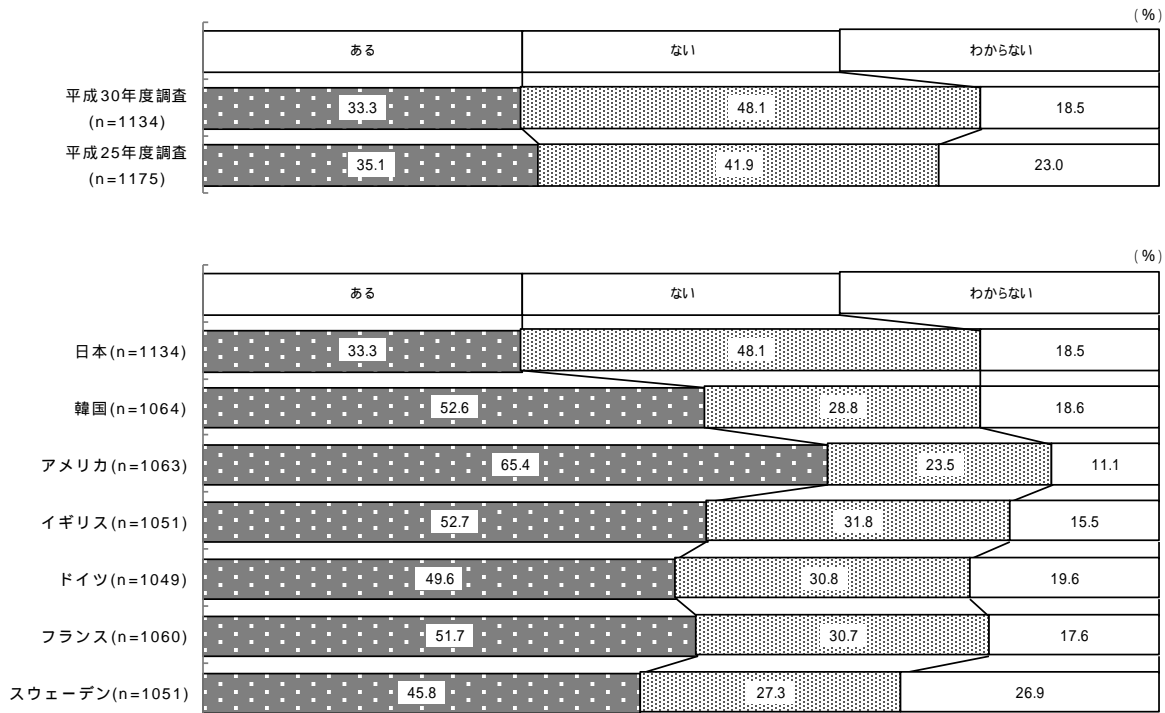
### (1) ボランティア活動に対する興味

Q38 あなたはボランティア活動に興味がありますか。(回答は1つ)

ボランティア活動に対する興味を日本の若者に聞いたところ、「ある」と答えた割合は33.3%、「ない」と答えた割合は48.1%で約半数を占めている。

日本について平成25年度調査と比較すると、「ない」と答えた割合が6.2ポイント高くなっている。

7か国比較でみると、「ある」と答えた割合は、アメリカ(65.4%)と答えた割合が最も高く、次いでイギリス(52.7%)、韓国(52.6%)、フランス(51.7%)、ドイツ(49.6%)、スウェーデン(45.8%)、日本(33.3%)となっている。



(2) ボランティア活動に興味がある理由

Q39 あなたがボランティア活動に興味があるのは、どのような気持ちからですか。この中からいくつでも選んでください。(回答はいくつでも)  
Q38で「興味がある」と回答した人が対象

ボランティア活動に興味がある理由を日本の若者に聞いたところ、「困っている人の手助けをしたい」(57.1%)と答えた割合が最も高い。次いで「地域や社会をよりよくしたい」(54.8%)、「いろいろな人と出会いたい」(36.0%)、「新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりしたい」(34.7%)、「自分のやりたいことを発見したい」(33.9%)となっている。

7か国比較でみると、日本と同様にいずれの国でも「困っている人の手助けをしたい」(韓国68.9%、アメリカ65.3%、フランス60.4%、スウェーデン55.7%、イギリス54.9%、ドイツ47.5%)と答えた割合が最も高い。次いで、「地域や社会をよりよくしたい」または「新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりしたい」が続く。

日本について平成25年度調査と比較すると、前回も今回も最も高かった「困っている人の手助けをしたい」は8.3ポイント低くなっている。前回2位だった「いろいろな人と出会いたい」は今回3位で13.6ポイント低くなっている。一方、前回3位だった「地域や社会をよりよくしたい」は今回2位で6.4ポイント高くなっている。

	日本 (n=378)	韓国 (n=560)	アメリカ (n=695)	イギリス (n=554)	ドイツ (n=520)	フランス (n=548)	スウェーデン (n=481)	平成25年度調査 (n=413)
地域や社会をよりよくしたい	54.8	37.0	61.7	49.5	46.2	47.4	49.1	48.4
困っている人の手助けをしたい	57.1	68.9	65.3	54.9	47.5	60.4	55.7	65.4
新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりしたい	34.7	29.6	43.6	49.3	46.5	33.6	45.7	37.3
自分のやりたいことを発見したい	33.9	28.8	32.7	32.1	27.7	17.3	29.5	34.6
いろいろな人と出会いたい	36.0	31.6	33.4	31.4	32.9	26.3	29.5	49.6
進学、就職などで有利になるようにしたい	20.4	21.8	29.4	31.9	24.6	15.0	29.7	14.8
自由時間を有効に使いたいから	15.6	22.9	31.1	29.4	31.7	27.6	22.2	12.6
周りの人がやっているから	1.9	5.5	5.9	4.9	10.6	8.2	3.3	2.7
その他	2.6	1.8	1.2	1.4	2.9	0.2	2.1	2.2
わからない	1.3	1.3	1.0	2.2	1.0	0.9	2.5	1.7

(%)